

技術者必読の書

『インターネットシステム ハンドブック』

Daniel C.Lynch/Marshall T. Rose 編著
村井 純監訳
インプレス発行
799頁
7500円
ISBN:4-8443-4746-2



本書は、インターネットの構築に関

わってきた人々が書き上げた技術書である。先月取り上げた『インターネット参加の手引き』に似てい

るが、内容的に重複しないところも多々あるので読んでおきたい。まず、インターネットの歴史や組織に関する概要から始まっているが、この記述が生々しくて面白い。続く技術のパートから、インターネットの核となるプロトコルの話、経路制御、アプリケーション、ルーター、セキュリティ、アプリケーションの作成、ディレクトリサービス、管理、測定、運用、今後の課題と、技術者がインターネットを理解するうえで必要な情報が盛り込まれている。この内容を理解するにはネットワークに関

する十分な知識が必要だが、この本をメインに、より簡単な技術書を章ごとに用意して学んでいけば、いい勉強ができるだろう。800ページ近くのボリュームと技術的な内容に圧倒され、すごく読みにくそうに見えるが、実際は、意外と読みやすい。章ごとに著者が違うので、難易度は章によってまちまちでも、図版やリストが適切に配置されているのがいい。インターネットで仕事をする技術者ならば、腰を据えてこの本に挑んでほしい。きっと得るものは大きいだろう。



インターネットの作り方

菊地宏明 Hiroaki Kikutchi

ビジネス現場への普及度

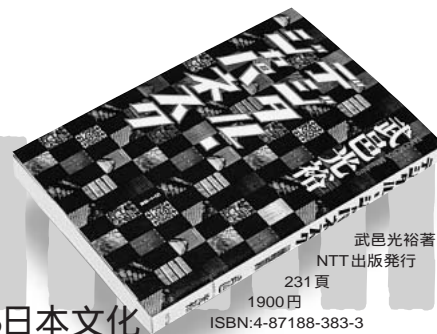
『インターネットビジネス 白書'96』

インターネットの利用状況をレポートした資料。メインは利用編2章目の「日本の利用動向」において、1995年8月にインターネットイニシアティブ(IIJ)の契約者のなかの専用線IP接続サービス利用者とUUCP利用者すべてに行ったアンケート調査の集計結果である。日本のインターネットの現状とIIJユーザーの現状との差は定かではないが、多くのインターネットサービスプロバイダーも、IIJを介してインターネットを利用する企業を対象にアンケートを取っているため、インターネットビジネスに対して本格的に取り組んでいる企業が多いものと考えられる。どんな企業がどのようにインターネットを利用しているかがまとめられている。タイ

トルから電子商取引に関する現状報告を期待してしまいが、あまり取り上げられていない。サンプル時期が1年前と古いのが、考えていたよりも利用者の環境が進んでいることがわかった。いまだに1台のコンピュータを数人で使う環境が一般企業(コンピュータ業界以外の企業)の多くを占めるのかと予想していたが、集計されたほとんどの業界で、1人で1台のコンピュータが使える環境が大半を占めていた。だいぶ欧米的になったものだと感じてしまった。



日本アプライドリサーチ研究所著
インターネットイニシアティブ監修
アスキー発行
335頁
3200円
ISBN:4-7561-1642-6



デジタルになる日本文化

『デジタルジャパネスク』

本書では、デジタル化が急速に進む現代の揺れ動く産業・社会・文化の行方を追いつながり、次世紀の日本は、地球規模の変動にどう関わるべきなのかを問いかけ、我々の意識はどの方向に向けるべきかを示してくれる。方向を示すキーワードとなるのが「エンターテイメント」であり、「もてなし」である。そして、「日本人の感性」。これらの複数のキーワードが織り込まれていき、デジタルジャパネスクを作り上げていく。インターネットに代表されるようなデジタルな世界は、日本の伝統的な世界から隔絶しているように見えが

ちだが、そんなことはないはずで、デジタル化できるわびさびや、茶の心だつてあるだろう。オタクが牽引するアニメ、コミック、ゲームを中心とした文化とは違った伝統文化を世界は望んでいるとするなら、我々の中に伝統文化を探し求めねばならない。しかし、日常が欧米化するあまり、アジア文化や日本文化を意識しなくなってしまった。たとえば、ホームページの背景色は「瓶覗き」にしてください、といったら、色の想像はつくだろうか(瓶に水を満たして覗き込んだときの色だが、瓶など持っていないのでさっぱり?)少しは自分たちの文化を意識しようと考えてしまった。

ファイル形式の基礎知識

『INTERNETファイル形式 AtoZ 完全解説』

ネットニュースやFTPサイトからファイルをダウンロードしたとき、またはバイナリーファイルを添付した電子メールを受け取ったとき、いつも行っているバイナリーファイルの変換の方法が使えないと、けっこうどきどきする。技術系の人なら、パズルを解くように楽しく問題を解決していくが、苦手とする人はどうしたらいいか。この本ではインターネットで使われる画像、動画、音声、レイアウトされた文書、圧縮、アーカイブ、エンコーディングで使われている主なファイル形式を紹介している。ファイル内部のしくみや、その形式のメリット/デ

メリット、Windows/DOS/Macintoshの各環境でこれらのファイルを扱うためのユーティリティソフトも解説される。付属のCD-ROMには、そのユーティリティソフト約100本以上(Windows/DOS/Macintosh/UNIX用)とサンプルファイルが収録されている。インターネットで使われる50種以上のファイル形式に対し、概要、内部のしくみが解説され、ファイル形式の知識を得るには便利な本だ。しかし、実用面から考えると、謎のファイルを解読するために、ファイルの拡張子から形式を探し出せるインデックスも付けてほしい。



Tim Kientzle 著
近藤淑子 訳
ジャストシステム発行
341頁
3800円
ISBN:4-88309-123-6

PageMillで作るホームページ

『30分で作るホームページ for Mac』

サブタイトルに『Adobe PageMill 1.0J 入門』とあるとおり、この本では、アドビのHTMLエディター「PageMill (ページミル)」を使い、実践的にホームページを作成するのは、ビギナーにとって最も簡単な方法である。それを説明するのだから、ほとんど絵本のように画面のスナップショットと解説文が並んでいる。単純なページなら30分でどうにか作成できるはずだ。看板に偽りはない。つまり、

PageMillの操作性が他のワープロの類と大差ないくらい一般的で使いやすいということだ。ビギナーが、読みながら、まず練習ページを作ってみるまでならば、十分役に立つ本だ。しかし、操作解説の図版の正確さが手探りでページを作るうえで重要なポイントとなるべきものだが、解説と図版があわない所がいくつかあった。初歩的ミスであるが、図版中心の入門書では致命的である。見つけたところは、前後の図版で手順や状況は把握できるので、重要な問題には至っていない。画面の図版もいいが、わかりにくいところは適度にイラストを使って説明してほしい。スージー甘金氏のワンコのイラストで本書を手にとったわりに、イラストがなくて残念。



島津泰彦 著
ジャパン・ミックス発行
200頁
2200円
ISBN:4-88321-236-X

サーバー構築の進め方

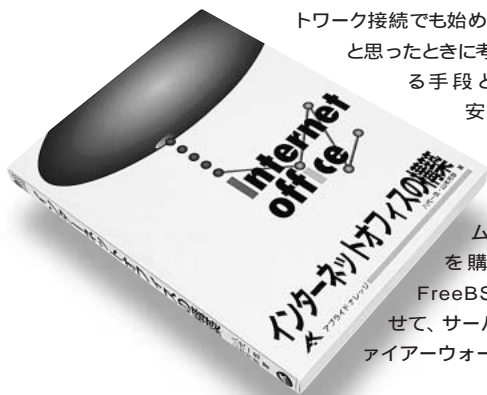
『インターネットオフィスの構築』

「さて、インターネットへネットワーク接続でも始めようか」と思ったときに考えられる手段として、安いペン

ティアムマシンを購入し、FreeBSDを載せて、サーバー、ファイアーウォールを作

ってしまおうというアイデアがある。実際、そうしている人もかなりの数がいる。UNIX入門や管理者になるための本はあるが、一般的なことがほとんどで、サーバー、ファイアーウォールを構築する方法にはあまり触れていない。本書では、まさしく、FreeBSDでサーバーとファイアーウォールを構築し、Windows/Macintoshのクライアントの設定を解説している。ドメインネームサーバー、メールサーバー、ニュースサーバー、WWWサーバー、ファイアーウォールと、どれをと

っても解説書が1冊ずつあったもおかしくない内容なのだが、ここではこんな設定データを作ってこのような手順で設定を進めていけばサーバーが構築できると、概要を捉えるだけにとどめられている。つっこんだ理解は難しいが、UNIXが少しでもわかっていれば、こんな感じでサーバーは作られるのかと、おぼろげながらわかるだろう。これからの秋の夜長に向けて、模型を作る感覚で、実際に見よう見まねでサーバーを作りながら理解していくのはいかがか。



八代一浩/山本芳彦 著
アブライドナレッジ発行
177頁
2900円
ISBN:4-900570-40-0



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp